

平成20年度 予備講習開設評価結果報告書

文部科学大臣 鈴木 恒夫 殿

免許状更新講習規則第7条第3項の規定に基づき、免許状更新講習の運営状況、効果等の評価結果について以下のとおり報告します。

平成20年 9月 8日
独立行政法人 国立青少年教育振興機構
理事長 田中 壮一郎 印

I. 講習の運営状況に関する事項

※ 色の欄はプルダウンで該当事項を選択してください。

①開設講習名	「教科指導・学級経営に生かす体験活動の指導」		②会場(所在地)	国立オリンピック記念青少年総合センター(東京都渋谷区)	
③開設者名	国立青少年教育振興機構(区分)	独立行政法人	④設置者名		
⑤開設日	平成20年7月28日～30日		(区分)	平日(長期休業期間)	
⑥履修認定時期	平成20年8月31日まで	⑦時間数	18時間	⑧受講人数	45人
⑨履修認定の方法	筆記試験 (左で「その他」を選択した場合内容を記入)				
⑩履修認定対象職種	<input checked="" type="checkbox"/> 教諭 <input type="checkbox"/> 養護教諭	⑪主な受講対象者	全教諭		

上記の内容を含め、申請内容のとおり実施しています。

※実施形態・内容・時間数が同一で、(3)に記載した講師が実施する講習を異なる期間で実施する場合に記載してください。

②会場(所在地)	〇〇大学(〇〇県〇〇市)				
⑤開設日	平成 年 月 日 ~ 月 日	(区分)	(選択してください)	(左で「その他」を選択した場合内容を記入)	
⑥履修認定時期	平成 年 月 日まで	⑧受講人数	人		
②会場(所在地)	〇〇大学(〇〇県〇〇市)				
⑤開設日	平成 年 月 日 ~ 月 日	(区分)	(選択してください)	(左で「その他」を選択した場合内容を記入)	
⑥履修認定時期	平成 年 月 日まで	⑧受講人数	人		

II. 講習の効果に関する事項(受講者の事後評価結果)

※ 評価の基準

1: 強く思う 2: だいたい思う 3: あまりそう思わない 4: 全くそう思わない

※ %は有効回答総数を100%とした場合の各項目を回答した者の割合

項目	評価結果					有効回答総数
	1と回答した者	2と回答した者	3と回答した者	4と回答した者		
1. 学校現場が直面する諸状況や教員の課題意識を反映して行われていた。	19人 42%	24人 53%	2人 4%	0人 0%		45人
2. 講習のねらいや到達目標が明確であり、講習内容はそれらに即したものであった。	31人 69%	12人 27%	2人 4%	0人 0%		45人
3. 受講生の学習意欲がわくような工夫をしていた。	39人 87%	6人 13%	0人 0%	0人 0%		45人
4. 適切な要約やポイントの指摘等がなされ、説明が分かりやすかった。	31人 69%	13人 29%	1人 2%	0人 0%		45人
5. 配付資料等使用した教材は適切であった。	28人 62%	17人 38%	0人 0%	0人 0%		45人
6. 開設者の運営(受講者数、会場、連絡、事前調査等)は適切であった。	37人 82%	7人 16%	1人 2%	0人 0%		45人
7. 教育を巡る様々な状況、幅広い視野、全国的な動向等を修得することができた。	23人 51%	20人 44%	2人 4%	0人 0%		45人
8. これまでに知らなかった理論、考え方等、指導法や技術等を学ぶことができ、今後の教職生活の中での活用や自らの研修での継続した学習が見込まれる。	32人 71%	12人 27%	1人 2%	0人 0%		45人
9. 受講前よりも講習内容への興味が深まり、自分の苦手分野の克服の一助となった。	31人 69%	11人 24%	3人 7%	0人 0%		45人
10. 教職生活を振り返るとともに、教職への意欲の再喚起、新たな気持ちでの取り組みへの契機となった。	29人 64%	14人 31%	2人 4%	0人 0%		45人
11. 全体を通して、他の教員にも勧めたい講習であった。	38人 84%	7人 16%	0人 0%	0人 0%		45人
合計	338人 68%	143人 29%	14人 3%	0人 0%		495人